



あいさつ運動に取り組む児童ら

# 目指せあいさつ日本一

## 運動盛り上げに工夫 キャラ募集や替え歌など

打吹小では、「あいさつ日本一」を目指して、全校児童が積極的にあいさつに取り組んでいる。児童らは学期ごと2回の代表委員会を行い、

「あいさつ日本一」を目指すための方法を話し合った。特に「あいさつキャラクター募集」と「あいさつ替え歌の活動」は、あいさつをしようという気持ちを盛り上げた。あいさつキャラクターは、全校児童からオリジナルデザインを募集し、そのキャラクターによるあいさつ運動に取り組んできた。中でも、児童が関心を持っていたのは、朝のあいさつタイムやあいさつボスター作、あいさつ俳句コンクールなどに取り組んでいる。あいさつ替え歌の取り



あいさつのプラカードを持って笑顔を見せる児童ら

# 打吹小新聞

## 学校概要



【学校名】 倉吉市立打吹小学校  
【所在地】 倉吉市仲ノ町733  
【校長名】 山名毅  
【児童数】 146人  
【教育目標】 ふるごころに誇りをもち、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成

## 沿革

2023年4月1日 灘手小と成徳小が統合し成徳小学校創立  
4月12日 開校式開催  
6月21日 児童会代表委員会で全校の目標「めざせ あいさつ日本一！」が決定

2024年2月24日 第20回全国小学生タグラグビー選手権全国大会出場  
4月1日 打吹小学校に校名変更  
4月24日 第21回全国小学生タグラグビー選手権鳥取県予選大会2連覇  
2025年1月12日 同選手権中国ブロック大会出場



## 美しい玉川を守る

打吹小の3～6年生は昨年7月12日、校区内を流れる玉川を清掃した。児童らは軍手や火ばさみを使って石垣などの雑草を抜いたり、ナイロン袋などのごみを拾い集めた。以前はたき火の灰やごみが捨てられていたが、川を守る



## 「きれいになるとうれしい」 3～6年が清掃活動

「玉川を美しくする会」が設立。同会は4月から9月までの期間、毎月第3日曜の朝に活動している。倉恒俊一会長は「川をきれいにすることで、他県に行っても自慢できるような川にしたい」と話した。5年の伊藤結月さんは「きれいになって良かった。これからごみを見逃さないで拾いたい」。4年の河原希光さんは「いろいろな種類のごみがあった大変だったけど、友だちと協力してたくさんごみ拾えた」と述べた。6年の伊藤陽菜さんは「あまり玉川のことを知らなかったけど、きれいになると自分もうれしかった。これからもきれいな玉川をまっ続いてほしい」と語った。



完成した藍染め作品

地域の伝統文化である「倉吉の藍染め体験が昨年、染め上がった作品が完成し9月27日にあった。倉吉市では、6年の増井杏さんは「一度で染めた綿で織られる。江戸時代には木綿が特産品だった倉吉市で生産された。体験、良い作品に仕上がった」と話した。

## 倉吉の伝統文化を知る 倉吉の藍染め体験

では、市内の染織家の蔵見「れいし」と、横川結生さんは余子さんが講師を務め、6年生児童が染め方を学んだ。藍染めでは、白い綿の布に水を吸い込ませてよく絞り、藍液に漬けて色付けした。初めは緑色をして色付けした。上瑛稀、落合真優、河本蘭翔、小谷咲和、増井杏、山梨凜

## 互いの伝統を受け継ぐ

### 「打吹よさこいソーラン」披露



成徳よさこいソーランを披露する児童ら



灘手音頭を披露する児童ら

「キラリ輝く打吹っ子 自よさこいソーラン」を披露した。昨年5月25日、運動会が行われた。打吹っ子全員が競技「ぞー」のかけ声とともに上や応援に全力を出して取り組んだ。児童らは走り出した。初めに、最後に旧灘手小の伝統で行われた灘手音頭では、銭太ある「灘手音頭」と旧成徳小の「成徳小の心地よい音と息の合ったの伝統である「成徳よさこい」動きで観客を魅了。続く成徳空、谷口瑞起、福田健太、美ソーラン」を統合した「打吹よさこいソーラン」では、力強

いかけ声と迫力のある動きを披露し、会場を盛り上げた。演技が終わると、大きな拍手が校庭に鳴り響いた。子どもたちもやりきった達成感で、満足そうな表情だった。声出して全体を引っ張った児童坂さんは「自分たちが受け継いできた伝統を下級生の子にも伝えたい」と話した。

## 険しい坂道 駆け抜け

### 「打吹山クロスカントリー」



全力を出して走る児童ら

応援の声、力に変えて

打吹小では、体力や忍耐力の向上を目指し「打吹山クロスカントリー」が行われる。1～2年生は鎮玉神社から展望台までを往復するコースを走り、3～6年生は倉吉市営陸上競技場から頂上へ向かい、山道を降りてゴールの校庭を目指す。大会は年に数回あり、成績優秀な児童には「打吹山クロスカントリー努力賞」が与えられる。昨年10月17日に本年度の第1回クロスカントリーが行われた。上りは険しい坂道や階段を乗り越え、下りは一気に駆け降りた。途中で何度も投げ出しそうになったが、沿道で待つ保護者や地域の人の温かい応援を力に変え、ゴールを目指して走り切った。走り終えた5年の寺谷耀太さんは「とても辛かったけど、ゴールした時には達成感があった。今回は2位だったので、次は1位を目指して頑張りたい」と意気込みを語った。(秋下柑奈、尾崎孝輔、小谷麻琴、盛山桜、田中櫻子、長井幸子、西本明日香、宮川陽羽)

## 昔遊びで地域の人と交流

けん玉、ヨーヨー、こま回し…

### 火曜お昼の学校へ行こう



昔ながらのゲームや遊びを楽しむ児童ら

「学校へ行こう」が始まった理由について、成徳コミュニティセンターの明徳 志館長は「子どもたちに囲碁やこま回しなど、古くから親しみのある遊びに興味をもってもらいたかった」と話した。2年の藤原麗果さんは「地域の人たちが優しく教えてくれるので、いつも楽しく遊べる」と笑顔で語った。(江原穂、小椋心陽、酒井珠実、寺谷耀太、藤原果実、牧田寿、山内旺汰、山崎愛美、横山珠己、若旬)

5、6年生が作った新聞です